

政策目標7

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	政策目標7	小出地区としては、将来いずみ野線が延伸され新駅ができたときのアクセスの道路を要望しているが、これについて計画に「研究している」でもよいので記載できないか。	小出支所	いずみ野線の延伸については、都市マスタープランの事項かと思うが、総合計画としては29ページの都市構造図の中に「いずみ野線延伸」という言葉を掲載している。
2	政策目標6 政策目標7	免許返納後の買い物難民の問題も考えていくべき。北海道札幌市のSecomaが参考になるのでは。ぜひ今後のテーマとして皆さんとともに取り組んでいきたい。	小出支所	—
3	政策目標6 政策目標7 政策目標2	小出地区は、都市的な恩恵が少なく、台風や自然の猛威がくれば、道が塞がれるし、木が倒れて電線を切ればライフラインが寸断され、生活に大きな影響がある。こういったことまで含めて考えてもらいたい。小出小学校や避難所へ避難する道がないので、道路整備も早急にお願いしたい。周囲では農家の高齢化により農地が荒地になってしまいうケースも見られる。農業法人の若い人が農業をやってくれているので、その方たちが撤退しないように、彼らにはいつも声かけて応援している。小さいことかもしれないが、そういうことも見据えていかないと、荒地地になる。これを自然だと言葉だけで考えてもらいたくない。	小出支所	総合計画は網羅的なものになってしまう部分もあり、その中で自然の大切さをうたっていくことになるが、現実自然の中で暮らし、自然を管理している方々の大変さについては認識し、具体的な施策の立案において配慮していかなければならないと考えている。
4	将来の都市像 政策目標7	茅ヶ崎市に今後大企業がくるとは思えないし、商業も農業もない、観光といってもそれほど魅力があるわけでもないという中で、結局、住宅都市としてどうしていくのか、空き家をどうしていくのかという具体策を出さなければならないのではないか。	香川公民館	ご指摘のとおり企業誘致も、商業も農業もなかなか厳しい状況だが、そういった中でまちをどうやって維持していくのかが大きな課題であると認識している。具体的な部分は実施計画に記載することにはなるが、総合計画にどう描くべきなのか、検討していきたい。
5	政策目標7	松風台は高齢化率が40%近い地区だが、歩道の整備がされず、皆車道を歩いている。何とかならないか。高齢化といっても地域差を感じる。そのような中で、松風台では、住民が住宅説明会を開くなどの努力をしており、空き家も少ない。自分たちの地域は自分たちでやっていくという姿勢が重要だと思う。買い物や駅に行くこととすると、コミュニティバスもない。お年寄りが外に出やすくなる取組はいつそう進めてもらいたい。インフラ整備は行政の方でやってもらわないとどうにもならない。香川駅周辺は駐輪場は立派になったが、周辺は昔と変わらない。地域と行政が一緒になって、香川駅前をどうしていくのかを考えていきたい。図面は出ているが実現しそうでないので、新しい総合計画に期待をしている。	香川公民館	インフラ整備は行政がやるべきことと考えており、住民の皆様のご協力をいただきたい。ソフト面では、市は子育て世代を呼び込むためのプロモーションを展開しようとしており、茅ヶ崎市への転入を考える市外の方と、茅ヶ崎市で子育てをしている市民の方との交流の場をつくる取組も始めている。市民の皆様とタッグを組んでやっていきたい。
6	政策目標7 政策目標全般	総合計画は漠然としていて、個別計画がどうなっているかわからない状況になっている。住みやすい憩いの公園が増えたためしがなく、「公園や緑地の計画的な整備・維持管理」と書いてあるが、新しく確保してつくる姿勢はまったく見えない。市民目線に立ったお金の使い方をし、この文章も公園などの新たな確保も入れてほしい。特に、市税を使うことについては、住民を優先したお金の使い道として、ごみや公園など、市民目線に立ったお金の使い方を優先してほしいということが希望である。	鶴嶺公民館	公園が増えていないという点については、土地を相続した地主の希望により、致し方なく返還している部分が多いかと思う。担当課は増やしたいという思いはあるので、候補地を探していると思うが、最近はどういう話に至った例があるのかわからない。昔も、青少年広場は増やしたほうがいいという話もあったが、総論賛成各論反対のようなどころ中にはあり、なかなか難しかった。茅ヶ崎市は他市と比べてそういう空間が少ないまちであるのは間違いないので、そのような空間を増やすよう努めていきたいと思っている。
7	政策目標5 政策目標7	総合計画なので河川や丘陵に関しては「河川」という形で具体的なところが載っていないが、こちらのほうで具体的な提案をさせていただきたいと思う。フットパスの中に組み入れて、小出川の下流の海から里までを皆で歩けるロードをつくってはどうか。車のようなロードではなくて、歩けるということ。今、藤沢土木さんで計画として上流のほうまで土手の整備をしているが、整備の仕方では1人、2人が歩けるような土手をつくっていただければ、源流から茅ヶ崎の海まで藤沢の人も茅ヶ崎の人も市外の人も楽しんでいただけたら、自然にも親しんでいただけたら。お金の使い方としては、どうせ改修するわけなので、そういう観点でつくっていくと完成すると思う。これは総合計画だが、個別計画にそういうことを言葉と同時に具体的なところを載せていただくとありがたいと思う。まだ、土木や市の担当者には具体的な提案していないが、この会から、そのような提案があったことを伝えてもらいたい。	鶴嶺公民館	非常にユニークな提案かと思っている。他の皆様からいただいた意見もそうだが、すべてを集約して市役所内のすべての課にこういう話があったという情報提供を行うこととなっている。また、総合計画審議会でも骨子を議論しているので、そちらにもいただいた意見をすべて提供して、議論の参考にさせていただく予定である。その中で提案することも可能だが、直接担当課とやり取りされているので、その中でお話しいただければと思う。
8	政策目標5 政策目標7	緑の基本計画策定のとき、みどり課のヒアリングがあり、具体的に小出川に親しむ自然の保全を両立するという観点の中で、フットパス構想を市も県と協力して検討されたらどうかという意見があった。その後は県とも市とも直接話をしていないが、これからいろいろな機会があれば、アイデアの段階であるが、ご検討いただければという趣旨である。	鶴嶺公民館	
9	政策目標7	公園、遊具がなく、子供たちが遊べません。中央公園に遊具や砂場があるとよいのですが。	鶴嶺公民館	(アンケート)
10	政策目標5 政策目標7	小出川の「フットパス計画」を実現してください。	鶴嶺公民館	(アンケート)
11	政策目標7 政策目標 行政経営	実施計画は令和2年度中に固まると、3年の終わりぐらいということだと思うが、松林地区の喫緊の課題は、コミュニティセンターの問題だと思う。市民集会の中で中期的なことや場所が明示され、高田市営住宅跡地で最短で令和4年度から建設すると聞いた。土地は何とかできたとしても、最短でいう中で、市営住宅もこの部分にということであると、実施計画の中では莫大な建設費がかかると思う。他の施策等にも影響すると思うが、そのような形で具体的に実施計画にあげられるということではよいのか。	松林公民館	建設に至るまでに、最後には公費、その前に設計がある。設計も実施設計があり、その前に基本設計がある。また、その前には、建設検討委員会のようなものを組織して、どのぐらいの時間をかけて建設の検討をするのか、いつ頃から設計に入るのかということをご相談することがあるかと思われる。全体のプロセスを見て、事業費がかかる部分がどの段階で入ってくるかによると思う。実施計画は今まではずっと3年を計画期間としていたが、今後は変わる可能性がある。
12	政策目標2 政策目標7	・空家対策としての企業誘致も考えてみてはどうか。 ・企業内保育施設を働きかけていくことはどうか。	松林公民館	(アンケート)

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
13	政策目標 1 政策目標 7	生産年齢人口が減ると市税が減るので、生産年齢人口を増やす必要があるが、それには、子育て世代にとって魅力のあるまちをつくることが重要だと考える。身近なところに子どもの遊び場空間があることが重要ではないか。川崎では、夢パークを体験した子どもが、大人になって、夢パークの近くに移り住んできている。例えば、茅ヶ崎市のゴルフ場跡地に冒険遊び場を作り、何をやってもよい遊び場をつくることで、そこで遊んだ子どもたちが、30年後に戻ってくる可能性もあるのでは。	市役所(9月21日)	子育て世代に引っ越してきてもらおうというPRを20～40代の夫婦をターゲットに行っている。子どもが増えると経費も増えるのではという意見もあるが、将来のことを考えると、やはり子どもたちを増やしていくことが重要。 茅ヶ崎市はイメージがよく、子どもが小さいときに引っ越してくる子育て世帯がいるが、子どもが小学校に上がるときに、住み続けるか悩むことがあるとの意見もあり、住み続けてもらうための対策を考えていく必要がある。
14	政策目標 7	私は高校生だが、茅ヶ崎の狭い道路が多く、登校中、車、自転車が多くて、危険だと感じている。道路拡張や標識、鏡をつくるなどのところはどうなっているのか。	市役所(9月21日)	道が狭いことについては、意見として多くもらっている。安全、安心が第一だと思うので、優先順位をつけながら、引き続きすすめていきたいと考えている。
15	政策目標 7	道路事情が悪い。都市づくりの計画はあるようだが、民間事業者が関係なく開発事業を進めた結果、道路が狭くなったりしている。道には電柱が並んでいて、地震の際には落下してくる可能性があり、防災の面から見ても課題が残っていると感じている。道路を広くするなり、地中化するなり、取組を進めてほしい。昭和28年からずっと、解決できていない。市として、都市づくりを積極的に着手していないのではないかと感じている。都市計画を構築する姿勢が見えない。	小和田公民館	茅ヶ崎市の悪いところとして、道路が狭いことはずっと言われている。 総合計画としては、44～45ページのところに記載している。財政的な面も踏まえつつ、都市マスタープランと連携しながら、優先度つけて進めていきたい。
16	政策目標 7	道路問題(特に私道の事)の整備→法的な事、整備な事を公道に準ずる様に。	小和田公民館	(アンケート)
17	政策目標 2 政策目標 7	産業の誘致、商業施設の誘致、農業を増やすことについて、茅ヶ崎だけで無理な場合は、寒川町と連携することなどできないか。 通勤客がいるが、相模線が不便である。寒川町や海老名市、JRと連携して、折り返し運転を増やすなど、もっと通勤客が住みやすい町にできないか検討してほしい。	市役所(10月3日)	観光客は増えている。道路のアクセスがよくなると、さらに人が増えると考えており、道の駅の活用を進めている。 広域連携については、消防事務は寒川と茅ヶ崎が協働でやろうとしている。また、ごみ処理は従来からやってる。寒川、藤沢とは協議会もあるため、連携について引き続き検討していきたい。
18	政策目標 2 政策目標 3 政策目標 7	意見交換時に発言したものを再掲いたします。↓ ・財政の健全化に関して ①産業の誘致、商業施設の誘致、めぐまれた自然を活かした観光客の呼び込み等による税収の増加 ②市立病院の赤字解消(支出の削減) 民間に売却。半官半民による独立採算性 民間との統合・再編(厚労省の指標を参考に) ③茅ヶ崎市のみで産業誘致が難しい場合、寒川町との連携、さらにJR相模線の海老名折返し運転の導入等で海老名市、寒川町、そしてJRとの連携をお願いしたい。工場誘致のみでなく、農業についても連携が望ましいと思います。	市役所(10月3日)	(アンケート)
19	政策目標 5 政策目標 7 政策目標 2	・公園が現状少なく、さらに多くする必要があると思います。茅ヶ崎は住宅地が多いため、公園を増やすことで地域交流がしやすくなり、また、子育てする人にとって住んでいる近くで子どもを遊ばせることで、子育てしやすくなると思います。また、公園の施設内に、防災のための必要なものを設備することも将来的に必要だと思います。 ・茅ヶ崎市内で働いている方の少なさというところで、中小企業にさらに力を入れていくべきであると思います。子育て世代や、高齢者が多くなる中、遠くへ働きにでるより、茅ヶ崎内で働ける環境があると働きやすくなると思います。そのため、茅ヶ崎内にある中小企業に対し、市がさらに支援し、働きやすい環境を作る必要があると思います。 ・観光業や農業について、茅ヶ崎は県内の中でも少ないと思います。茅ヶ崎は面積が少なく、なかなか農業についてできるものではないのですが、茅ヶ崎ブランドを作ることができたらいいと思います。観光については、経済的にも収入が多くなり、これから先必要であると思います。今の観光では、湘南など少ないと思うので、さらに増やす必要があると思います。 長くてだらだらとした文章で、うまく伝わってなければ申し訳ありません。	市役所(10月3日)	(アンケート)